

目次

1 簡単なサンプルのはじまり.....	1
1.1 章節の自動ID付与.....	1
1.2 章節番号の自動発番.....	1
1.3 索引に載せる項目の指定.....	1
2 サンプルの最終章.....	1
2.1 目次の指定.....	1
2.2 この節では，索引を指定する方法を記述する。.....	1
付録 A サンプルの最終章サンプルの最終章.....	2

第一章 簡単なサンプルのはじまり

文書全体(タグ名は"文書")は，文書のタイトル(タグ名は"標題")，章(タグ名は"章")と付録(タグ名は"付録")から構成される。章の中には，タイトル(タグ名は"標題")と段落(段落)と複数の節(節)を含むことができ，また節及び付録の中には，タイトル(タグ名は"標題")と複数の段落(タグ名は"段落")を含むことができるものとする。

1.1 章節の自動ID付与

章節項に対する見出し用の番号を自動的に発番するには，各章，節，項のそれぞれに対し識別番号を予め振っておかなければならない。そのためには，XSLTのID生成機能 ([generate-id\(\)関数](#)) を利用する。省略

1.2 章節番号の自動発番

.省略

1.3 索引に載せる項目の指定

.省略

第二章 サンプルの最終章

これはXSL， XSLTを使って，目次，本文，索引を XSL-FOとして 示すための簡単なXML文書です。

2.1 目次の指定

以下に目次を作成するコードを記述する

.省略

2.2 この節では，索引を指定する方法を記述する。

.省略

付録 A サンプルの最終章

以下にサンプルコードを示します。

.....省略.....

索引

generate-id関数【1】

XSL【1】

XSLT【1】

XSL-FO【1】